

# おいしー(OEC) 2005.01 ニュースレター No.4

NPO法人 おきなわ環境クラブ

明けましておめでとうございます。昨年は JICA の研修や研修員の福利厚生、那覇市エコツアー資源調査など多くの委託事業を受けて、新しいチャレンジが盛り沢山の一年でした。また新潟県中越震災害やスマトラ沖津波など、大きな天災に見舞われた年でもあり、来沖していた JICA 研修員の中にも津波の災害地の方々がいらっ

しかったのでとても身近な問題に感じました。

少しでも早い復興を願ってやみません。今年は無事な一年であるといいですね。2005年も宜しくお願い致します！



## 今年度の主な事業紹介

### JICA 研修員

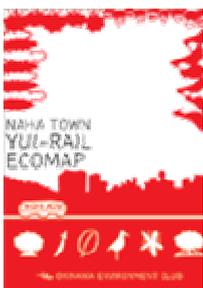


### 自主事業

エコツアー事業では、旅行社と提携して川の生物を観察しながら環境を学ぶ「やんばる自然体験学習」を実施。そしてモノレール沿線の歴史や自然に触れる「ゆいレールでいく那覇・水めぐり歴史と自然再発見エコツアー」などを行っている。その他、講師を派遣する環境教育事業、ガイドブックや苗木標本などの教材開発事業を実施中。



日本語版



English 版

### お知らせ

このたび OEC より、ゆいレール沿線にある沖縄独自の豊かな資源を網羅した英語と日本語イラストマップを作成した。

その名も『なはの街ゆいレールエコマップ』。この MAP があれば、那覇の街がますます楽しくなること請け合いです！2月出版予定。乞うご期待。

### 助成金事業

平成 16 年度地球環境基金助成事業では、八重山や宮古諸島における水辺植生調査とその希少種の保護・回復活動を行った。希少種及び水辺植生の保護対策として、当地産の苗木を育て、移植・植樹を行う。更に、世界に向けた保護回復の実践マニュアルも作成する。

また、経済産業省が公募した「市民活動活性化モデル(市民ベンチャー)事業」217 件の中からおきなわ環境クラブも選ばれた。「健康・水・エネルギー」をコンセプトとする『宮古島におけるエコツアーとエコ体験市場の創生』の基本計画事業を実施した。この事業によって環境教育と離島地域の活性化に寄与していく予定。

### 委託事業

昨年 4 月～12 月まで那覇市観光課から委託を受け、ゆいレールを軸とする都市型エコツアーを展開する為の自然や歴史、文化・芸術についての資源調査を実施。那覇市のエコツアー資源のデータベースを構築し、エコガイドマップ等を作成した。

5 月 11 日～7 月 11 日(61 日間)9ヶ国 9 名に JICA 集団コース『熱帯・亜熱帯地域エコツーリズム人材育成研修』を実施した。その研修は自国でエコツーリズムを実施するための観光開発、環境保全、行政や地域の取り組み、自然や文化の資源調査法、人材育成法など、幅広い分野について講義と実習・視察などを行った。

8 月 2 日から 10 月 31 日の三ヶ月間、第三回沖縄エコツアーガイド養成研修を実施した。講義 126 時間、ツアーに向けた教材作成・プレゼンテーション、各現場におけるガイドなどの実習 218 時間と合計・344 時間の盛り沢山なプログラムを 20 名が履修した。

## 2004 年活動歴

活動名	内容	年月日	場所	人数	備考
OE C 宮古講座	サガリバナ講話と鉢植え講習会 マングローブ講話と島尻観察会	04-01-31 04-02-01	平良市 平良市	50 50	自主事業・環境教育
JICA 留学生セミナー	島嶼地域の観光開発と環境保全	04-03-04 ~ 10	浦添市・OIC	15	JICA 沖縄委託
修学旅行への講師派遣	旅行マングローブと水鳥のガイド	04-03-13	漫湖	300	JTB 岐阜依頼
地域環境センター管理	県民への環境情報提供	平成 16 年度	沖縄県庁 4F		沖縄県文化環境部委託
琉球列島における水辺植生と その希少種の保護・回復	水辺植生とその希少種の保護・回 復実践と実践マニュアルの作成	平成 16 年度 平成 17 年度	琉球列島		地球環境基金助成金
団体旅行へのエコガイド派遣	世界遺産・漫湖のガイド派遣	平成 16 年度	本島南部一円	31 回 1079	近畿日本依頼
JICA 研修員福利厚生事業	OIC 滞在研修員へエコツアー提供	平成 16 年度	沖縄本島		JICE 依頼
那覇エコツアー資源調査事業	モノレール沿線の資源調査	04-04-01 ~ 12-31	那覇市		那覇市観光課委託
環境教育への講師派遣	ホテルや学校で自然や環境の講話	平成 16 年度	県内全域		学校や旅行社の依頼
エコツアー事業	那覇の街モノレールツアー	平成 16 年度	那覇市	8 回 77	(株) エアー沖縄提携
OE C 宮古支局開設	宮古下地町川満 1026・支局員 1 名	04-05-08	宮古島下地町		
JICA 集団コースエコ人材研修	2 ヶ月間熱帯・亜熱帯の人材育成	04-5 ~ 7 月	浦添市・OIC	9	JICA 沖縄委託
第 25 回 OE C ワークショップ	観察会と水辺の My キーフジ作戦	04-05-30	漫湖	60	地球環境基金助成
水生生物調査への講師派遣	水生生物調査へエコガイドを派遣	平成 16 年度	沖縄本島	14 回 810	県環境保全課依頼
パ rint ニアフェスティバル 2004	県庁内サガリバナのライトアップ 国場パ rint ニア観賞会	04-07-12 ~ 07-19	沖縄県庁 那覇市国場		自主事業・環境教育
宮古天女の水まつり出展	宮古島の地下水保全パネル展示	04-07-31	宮古平良市		自主事業・環境教育
夏休みやんばる自然体験学習	旅行社と提携した体験ツアー	04-08 月	沖縄本島北部	2 回 21	(株) エアー沖縄提携
市民活動活性化モデル事業 (市民ベンチャー事業)	『宮古島におけるエコツアーとエ コ体験市場』の基本計画作成	04-08 月 ~ 11 月	宮古島		経済産業省助成金
夏休み宮古島自然体験学習	旅行社と提携した体験ツアー	04-08.29	宮古島	1 回 30	(株) エアー沖縄提携
地域環境センター講座(1 回)	安謝川ウォッチング	04-08-25	末吉公園内	5	地域環境センター共催
夏休み仲井真小講座(3 回)	子どもたちに自然と環境の学習	04-08 月	仲井真小	27	自主事業・環境教育
環境教育への講師派遣	中頭区中学教師へ環境教育講話	04-08-31	沖縄市	25	中頭教育事務所依頼
第 3 回エコガイド養成講座	20 名エコガイドの職業訓練	04-08-02 ~ 10-31	那覇市にいる	20	沖縄県商工労働部委託
第 26 回 OE C ワークショップ	識名園観賞と JICA 研修員交流	04-10-24	那覇市識名園	50	自主事業・環境教育
エコガイド 3 期生記者発表	エコガイド研修修了の記者会見	04-11-05	沖縄県庁		
国場川水あしび出展	パネルとマングローブ等展示	04-12-11	漫湖水鳥湿地 センター		自主事業・環境教育

### エコツアーの魅力

「こんにちは！本日のガイド、ヤカビと申します。体格がこうだからヤカブーともいわれます！」  
 なんて云い続けてやっと 3 年目のガイド。県内外の沖縄在住のおお客様が中心で、年齢も 20 代 ~ 70 代  
 までとさまざま。日常的にもツアーコースについて興味が絶えず、色んな本を読み漁ったり、聞いたりして  
 いるが、最近驚いたのは沖縄県教育委員会発行の報告書「沖縄の戦争遺跡」に掲載された『桜坂のてん  
 ぷら坂防空壕跡』。この壕が壺屋周辺地域の大勢の住民達の命を救ったのは記憶にあるが、驚いたのは  
 昭和 19 年の 9 月から人々が掘り始め、掘り終えたのが同年 10 月 9 日であり、翌日の 10/10 空襲に偶然にも間に合い助かった事。  
 地域を大事にしながら私自身が発見し、感動し伝え続けるのが私のエコツアーかもしれない。(沖縄エコツアーガイド 屋嘉比柴紀)



## OEC宮古支局開設



植物のついでテープカットを行う横山支局長、上原会長

NPO 法人おきなわ環境クラブ宮古支局が  
H16年5月8日、下地町高千穂で開所した。オープニング  
セレモニーでは植物のツルを使ったテープカットが行われ、  
宮古島での活動に意欲を見せた。

宮古における当クラブ活動の強化を目指し、これまでの  
自然や環境活動に加え、歴史や文化についても『OEC 宮古  
講座』として、学習・見学会を開催していく。

## コラム

### ボラとススキのダブルショック

ボラの切り身を那覇のスーパーで、いやいや、宮古島の魚屋でも見たことがない。そう、今ボラは汚染の象徴として、カニ簗や大物釣りの餌に使うだけで、食べることはない。

私にとってそれは、最高級の魚だった。今でも、与那覇湾産であれば、刺身、煮付け、汁物など、何でもOKだ。刺し網や追い込み（浅い干潟で走って網に追い込む）漁で、大漁の時は、母が街の市場へ売りに行ったものだ。

その島から出て那覇に住むようになり、30年前、今のパレット久茂地（県庁前駅の下）あたりに勤めていた。仕事の関わりで水の汚れを河口にすむ魚の肉や内臓で調べた。夜、安謝橋や那覇大橋の下に三枚刺し網を降ろし、翌朝引き上げるとずっしり、それこそ100kg近いボラやテラピアが捕れた。使うのは、種類ごとにほんの数百グラム程度だ。久茂地川に注ぐ排水溝では、投網の一投で十分すぎるほどのボラとテラピアが捕れた。これらの分析結果、特にボラの肉はクロルデン（シロアリ防虫剤）値が非常に高かった。河口にすむこれらの魚は、畑に撒かれた農薬類、そして家々とその周辺に撒く蚊やハエの殺虫剤で急に大量死が起きた。そのころからボラを観る度、複雑な気分になった。あんなに美味しい魚が、ここでは見向きもされずに捨てられていくのだ。

もう一つ。島でススキをカヤと呼び、半農半漁の集落では馬や牛の飼料としてその草刈りが子どもの大切な日課だった。島は平坦なため隅々まで畑に開墾され、ススキ原は唯一北海岸の尾根（ピンフ山）に広がっていた。休日になると中学生は、島の南端から北海岸へ馬車を連れ、夜道を1～2時間かけて草刈りによく行った。学校では、子どもたちの睡眠不足と安全を心配して午前0時以前に出発しないよう注意をしたが、意に介さず青々としたススキ（カヤ草）を求めて、キャラバンを組んで草刈りに行った。

島から出てきて、那覇の道端に青々としたススキが生い茂り、ちょっと郊外に出たらススキ原が広がっているのではないかと。帰省の度に、それらのカヤを刈り、船で持ち帰りたくなったものだ。しかし今、牛のため畑に牧草を植え、化学肥料を撒き、そして足りない分は島の外から購入している。これもまた複雑な気分だ。

OEC会員 下地邦輝

## 漂着種子の水栽培

島崎藤村の唄で有名な『椰子の実』も漂着種子のひとつある。

これは、遙か昔より南の国から黒潮に運ばれてきたもので、私たちの周りに多くの種類がある。漂着種子をペットボトルの水で栽培しながら、その不思議に迫ってみよう！

種 子：ヒルギ類の胎生種子、サガリバナ、サキシマスオウノキ、モモタマナ、アダン、テリハボク

方 法：1) 種子とペットボトル（適当な高さにカット）

2) 胎生種子は長さの 1/3、丸形の種子はその高さまで水道水を入れる

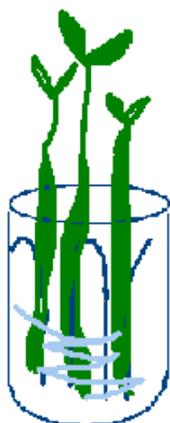
3) 水を最低週に 1 回替え、果皮の厚いサガリバナはそれより高頻度

4) 海水と液肥は不必要

疑 問：1) 発芽（発根）条件が水分・接触・光と考えられるが、ペットボトルの中は？

2) ヒルギ類胎生種子は海水でも OK だが、漂流中はなぜ発芽（発根）しない？

3) 砂浜など海岸で種子はどこから来たのか？考えてみよう。



### ボランティア募集！

おきなわ環境クラブで貴方の特技を活かしてみませんか？

身近な自然を大切にする事は私たちが暮らす地球の環境を守ることに繋がります。

皆様の特技を待っています。

（現在行っている活動）

那覇市内（漫湖）などでの水辺緑化

マングローブ希少生物や水辺植生の保全

と回復・・・その他。

2005 年の予定

3/19(土)

『末吉公園水辺の観察会』沖縄エコツアーガイドが案内します。  
AM10:00（末吉公園駐車場集合）

\* 長グツ持参をお願いします。

『OEC ニュースレターNo5』

三月発行予定。

おきなわ環境クラブ HP 上にてエコツアープログラムを掲載します。HP へのアクセスは下記まで。

NPO 法人 おきなわ環境クラブ（OEC）

〒902-0075 那覇市国場 370 番地 107 号室

TEL:098-833-9493 FAX:098-833-9473

E-mail: [ocm3.seikyoe.ne.jp](mailto:ocm3.seikyoe.ne.jp)

URL: <http://www.npo-ocm.com>

\* コープ国場の裏です。遊びに来て下さい。 \*

OEC 宮古支局

〒906-0301 下地町字川満 1026

TEL・FAX 0980-76-2696

E-mail: [ocm1@miyako-ma.jp](mailto:ocm1@miyako-ma.jp)